

しゅわ ちよこつと手話 ハンドブック

はじめに

耳の聞こえない・聞こえにくい人（「聴覚障がい者」といいます）に、
会ったことはありますか？

生まれつきの人、成長の途中で聞こえ方が変わった人など、理由や聞こえ方は、人によってさまざまです。

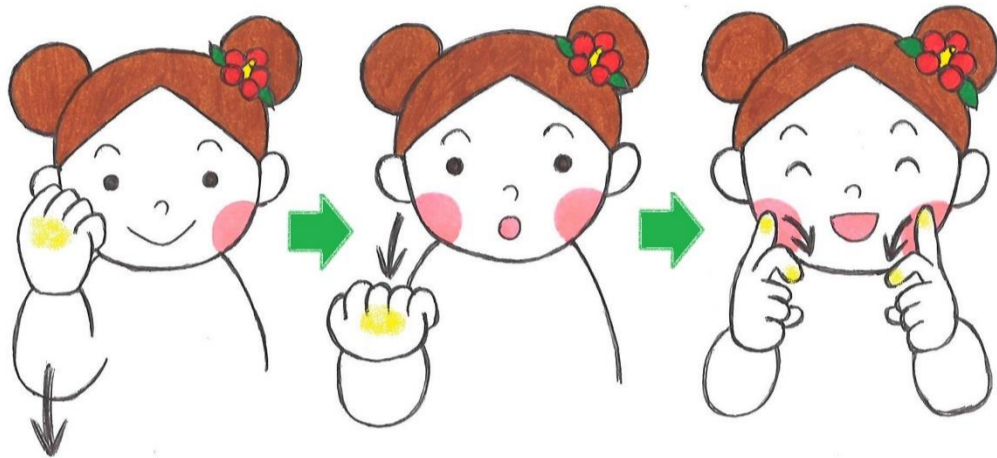
みなさん、手話や文字、身ぶり手ぶりでコミュニケーションを取っています。

まずはかんたんなあいさつの手話からおぼえて、使ってみましょう。

きっと新しい出会いがあると思います。

おはよう

(ございます)



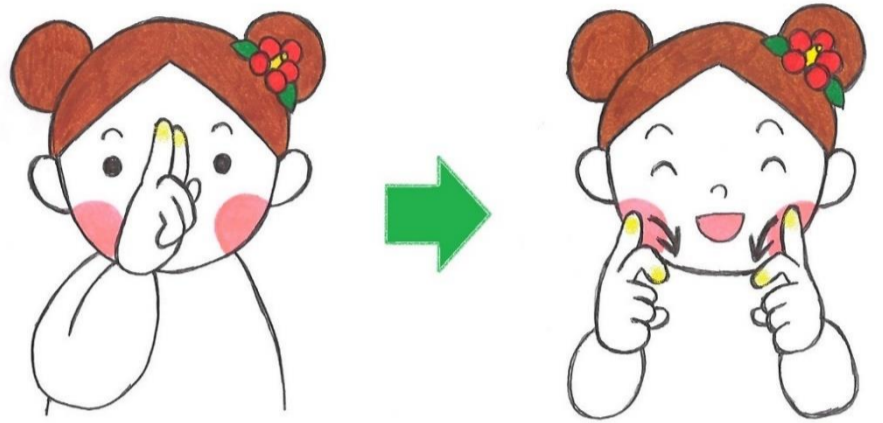
手をグーにして
こめかみにあて、

(朝、まくらから顔をあげて起きときのイメージです。)

手を下におろす。

人差し指を立てて
向かいあわせにしたら、
おじぎをするようにまげる。

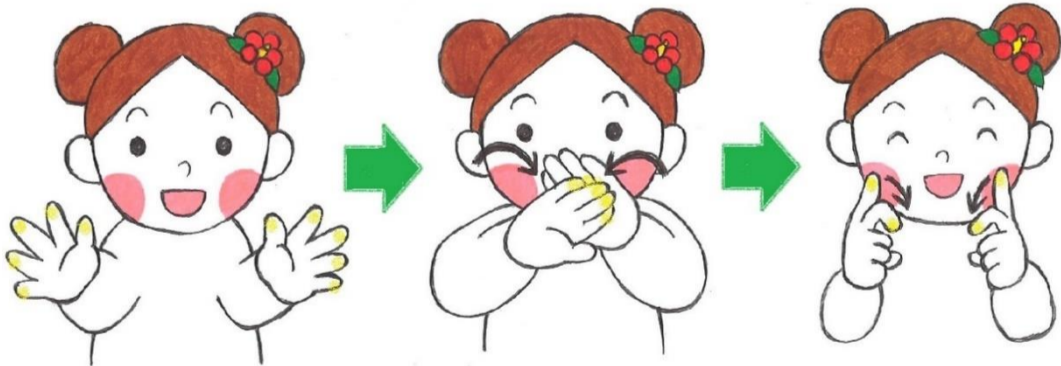
こんにちは



人差し指と中指をそろえて、
眉間(まゆげとまゆげの間)
に立てる。

(※省略しても、
おじぎでもOK)

こんばんは



肩のあたりで
両手をパーに開き、

(夜、あたりが暗くなるようすを表しています。)

その手を顔の前で
交差(クロス)する
ように、かさねる。

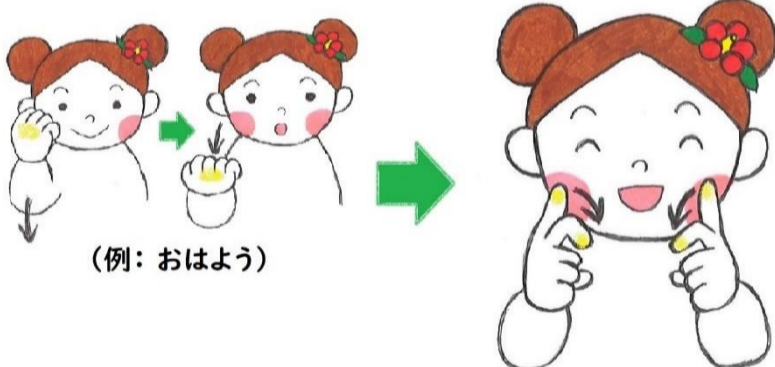
(※省略しても、
おじぎでもOK)

おやすみなさい



手のひらをあわせて、
まくらのように顔の横にあてる。

あいさつの手話 + ございます(丁寧語)



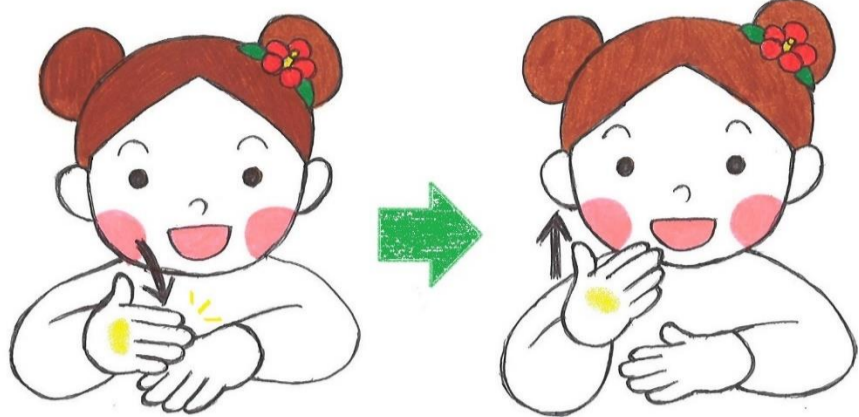
(例: おはよう)

人差し指を立てて
向かいあわせにしたら、
おじぎをするようにまげる。

(この部分は、省略してもOKです。
また、おじぎの動作に変えて表すこともできます。)

紹介しているのは、ほんの一部です。
ぜひ、ほかの手話も調べてみてください。

ありがとう

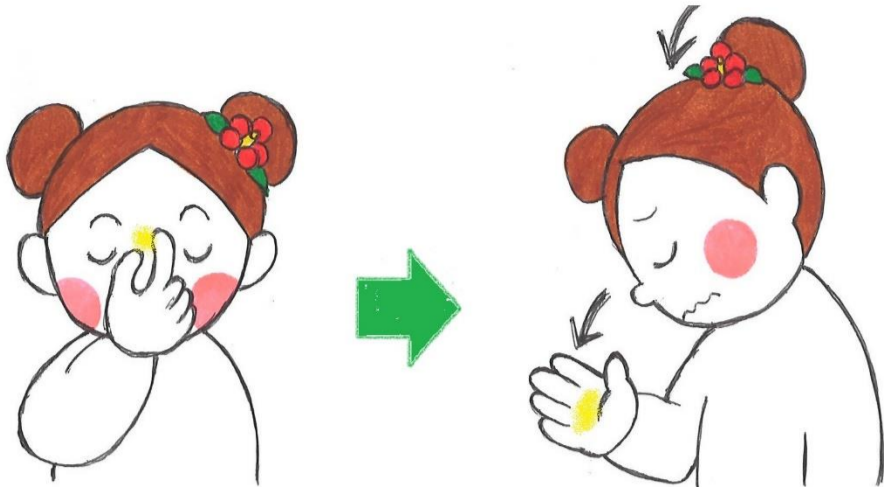


手の指をそろえた(閉じた)形で、
片方の手の小指でもう片方の
手の甲をかくくたいたいてから、

(おすもうさんが、勝って賞金をもらうときの動きからできた手話です。)

上にあげる。

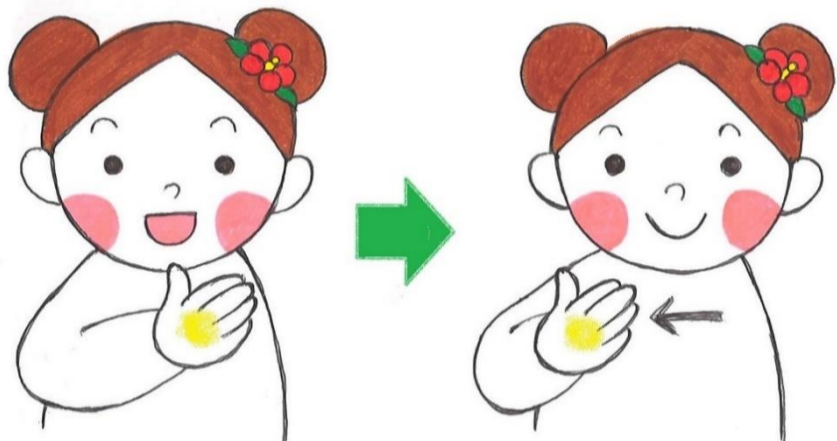
ごめんなさい



片手の親指と人差し指で、
眉間(まゆげとまゆげの間)を
つまむような形をつかった後、

手を、指をそろえた(閉じた)
形で立てて、
おじぎをしながら下げる。

大丈夫



指をそろえた(閉じた)形で、
胸の左側から右側へ

(左ききの人は右側から左側へ
手を動かす。)

元気です/がんばる・がんばろう



両手をグーに・ひじを張った(外側にひらいた)形にしたら、
グーの手を同時に2回、下に向かって動かす。

★疑問形(～ですか?)



手のひらを相手に向けながら、首をかしげる(かたむける)。

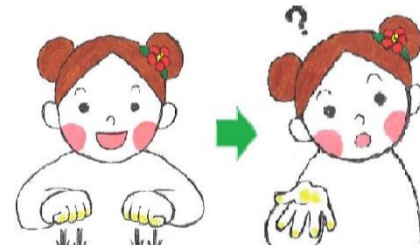
(動きと一っしょに、顔も不思議そうな表情にして、
相手の人に質問するきもちですと、よく伝わります。)

★ほかの手話と組みあわせてつかってみましょう。

「大丈夫(だいじょうぶ)ですか?」



「元気ですか?」



どうしましたか?

(どう・何)



人差し指を立てて、
顔の前で左右にふる。

(★疑問形「～ですか?」)



(この動きは省略してもOKですが、
いっしょにするとより丁寧です。)

もし、聴覚障がい者の人が困っていたら、まずはこのような
手話を使って話しかけてみましょう。声をかけてもらうだけで、
ほっとすることがあります。

その困りごとが自分だけで解決できないときは、近くにいる
大人に相談しましょう。



みみ
耳マーク



しゅわ
手話マーク



ちょうかくしょう
聴覚障がい者マーク